

平成26年度第1回桑名市入札監視委員会議事録

日 時 平成26年5月22日（木） 10：00 ～ 10：50

場 所 桑名市役所3階第2会議室

出席者 桑名市入札監視委員会委員（4名）

東川 薫（委員長）

伊藤由美子（副委員長）

赤木 邦男

佐藤 久善

事務局（5名）

水谷 正雄（総務部長）

丹羽 孝至（契約監理課 課長）

加藤 一吉（ 〃 検査指導係長）

伊藤奈雄（ 〃 契約係長）

河村あづみ（ 〃 契約係）

工事担当課（6名）

根本 秀雄（桑名駅周辺整備事務所 所長）

蛭川 裕司（ 〃 所長補佐兼駅西工務・補償係長）

杉本 高康（ 〃 ）

内山 勝博（土木課 課長）

小林 剛美（ 〃 主幹）

伊藤 康洋（ 〃 建設係長）

事 項

1 開 会

【事務局】

本日は、ご多忙の中、ご臨席を賜りまことにありがとうございます。

定刻になりましたので、平成26年度第1回入札監視委員会を開催させていただきます。

なお、本日、藤田委員から所用で欠席する旨のご連絡をいただいておりますので、ご報告をさせていただきます。

それでは、最初に、総務部長からご挨拶を申し上げます。

【事務局】

改めまして、おはようございます。

皆様方には、本日、大変お忙しい中を平成26年度第1回目の入札監視委員会にご出席をいただきましてまことにありがとうございます。これまで、委員の皆様方から本市の入札契約制度に関しまして貴重なご意見、ご提言をいただいております。制度の改正を進めております。本年度におきましても、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年来より景気の動向が上向きかげんと言われている中で、平成25年度発注の公共工事におきまして、秋ごろからさまざまな要因で入札が調わないといった状況が続きました。要因への対応の1つとして、国土交通省では今年10月にも再度労務単価を改定するという方向で検討に入ったということを今朝の報道で接しました。年度が変わりましたが、引き続き発注環境の動向を注視しつつ、入札の公平性、透明性、また、競争性の確保のため、適正な事務を進めてまいりたいと考えております。

それでは、本日の議事につきましてよろしくご審議をいただきますようお願いを申し上げまして、簡単でございますが、挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

【事務局】

本日の議事につきましては、お手元の事項書のとおりでございますので、ご審議のほどよろしくお願いいたします。

なお、本委員会は、入札監視委員会条例第5条第2項の規定を満たし、有効に成立していますことをご報告申し上げます。

それでは、開会に先立ちまして、東川委員長からご挨拶を頂戴したいと存じますので、よろしくお願いいたします。

【委員長】

おはようございます。

年度も改まりまして、また継続して委員会のほうを続けていきたいと思いますが、不正な談合というのをやっていけないことは一貫して当然ですから継続しているわけですが、業者の動きに影響を与える社会の経済的な、先ほど部長のほうからもお話がありましたけど、状況等は結構ダイナミックに変化をしていきますので、それに伴って桑名市さんのほうも入札の制度を常に社会の状況に合うように改善をしてきていただいているというふうには認識をしておりますが、私たちも引き続き勉強して、不正な談合が起きないように継続して監視を続けていきたいと思っております。また今年度もよろしくお願いいたします。

【事務局】

ありがとうございました。

ここからは、桑名市入札監視委員会条例第5条第1項の規定に基づきまして、東川委員長に議事進行をいただきたいと存じますので、よろしくお願いいたします。

【委員長】

それでは、事項書に従いまして議事を進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

先ほどお聞きいたしましたところ、今のところ傍聴者はないというふうに聞いております。本日の会議は一般公開となっておりますけれども、今現在は傍聴の希望をされる方はお見えになっておりません。また、途中で傍聴される方がお見えになる可能性もございますので、その時点で傍聴の可否については各委員の方にお諮りをさせていただきたいと思います。

それでは、早速審議に入りたいと思います。

2 議 事

(1) 平成26年度入札制度改正について

【委員長】

議事の1、平成26年度入札制度改正につきまして、事務局のほうから説明をお願いします。よろしくお願いいたします。

【事務局】

平成26年度入札契約制度の変更などについて、お手元の資料の1ページにより説明させていただきます。

最初に、1、緊急経済対策の延長についてでございますが、こちらのほうは平成21年度から実施しておる対策のほうなんですけど、昨年度に引き続き、予定価格が1億5,000万円未満の建設工事に限り、市内優先発注を平成27年3月31日まで1年間延長しますということです。

次に、2番、上下水道部発注案件の契約事務担当窓口の変更についてでございますが、当市において不祥事が起こってしまった経緯もあり、平成22年度から上下水道部の発注案件についても契約監理課が窓口となっていましたが、今年度、平成26年度から、上下水道部発注の案件については契約事務の

担当部署を上下水道部企画総務課としました。本来あるべき姿に戻ったと言えると思いますが、委員会としましては、議事に今後も上下水道部の案件を引き続き入れさせていただき、ご審議していただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

次に、3、前払い金限度額の廃止についてでございますが、請負代金が130万円以上の建設工事は4割、測量建設コンサルタント等は3割以内で8,000万円までという上限を設けて前払い金を支給しているところですが、公共工事等の適正な施工の確保、受注者の資金の円滑化をより一層図るため、8,000万円までという上限を撤廃しました。

最後に、4、地域建設業経営強化融資制度の延長についてでございますが、この制度は国において平成20年度に中小・中堅建設業の資金調達の支援のため設けられたもので、本市としましては平成24年度から導入しており、過去の実績は平成24年、25年度、おののお1件ずつとなっております。当制度につきまして、建設企業の資金調達の円滑化を図り、地域の社会維持活動に寄与するため、国において1年間延長されたのを受けまして、本市においても平成27年3月31日まで延長させていただくものであります。

以上4件につきまして、本年4月1日から適用させていただいており、市ホームページ等でも周知を図っていることとなりますので、よろしくお願いいたします。

なお、ここには載っていないんですが、平成23年11月から実施している変動型最低制限価格制度につきましては、事務局のほうで検証をし、本年度につきましてもこれまでどおり運用していくことに決定しましたので、ご報告させていただきます。

以上です。

【委員長】

ありがとうございます。

ただいまの報告につきまして、ご質問、ご意見はございませんでしょうか。

いつもあれなんですけど、議事録をつくる関係もあるので、私もあまり声は大きくありませんけど、マイクを使っていただくようお願いいたしたいと思います。

何かございませんでしょうか。

【委員】

2番の点ですが、本来の姿に戻ったという形ですが、少し前に不祥事があった件で、戻すに当たって何か従前と違った点で、こういう点について改善したとかいう何かがあれば教えていただければと思います。

【事務局】

今年度につきましては、人事面では前年度まで契約監理課におりました職員が上下水道部に異動しまして、そのまま契約事務に当たっております。電子入札につきましても、上下水道部でも利用できるよというところで整備をいたしまして、入札方法、制度につきまして上下水道部と市長部局ともに同じ制度を運用していくという形でさせていただいております。

【委員長】

ほかはいかがでしょうか。

【委員】

3番にあります前払い金支払い限度額の廃止ということですが、こちらの上限8,000万円まででは支障が生じたようなケースというのはこれまでにどの程度発生していたんでしょうか。

【事務局】

支障が生じたといえますか、上限8,000万といえますと2億円以上の工事について適用されるという形になりますので、これまでにしましては、最近でいいますと、蛸塚益生線だとか、そういった大きな工事に限定される形ではあるんですけども、他市の状況などを見ますと前払い金の上限を撤廃されてみえるところがかかなり増えてきましたのと、あと、国のほうからもそういった上限を撤廃してくださいということで要請がありますので、今回、本市においても上限を撤廃させていただいたという形

になっております。

【委員】

よくわかりました。ありがとうございます。

【委員長】

ほかはいかがでしょう。

それでは、ただいまの説明につきましては以上といたしたいと思います。

（２）入札及び契約手続きの運用状況について

【委員長】

次に、議事の（２）について、入札及び契約手続きの運用状況につきまして、事務局のほうから説明をお願いします。

【事務局】

それでは、入札及び契約手続きの運用状況について報告をさせていただきます。

まず、指名停止の状況でございますが、資料のほうは２ページをごらんください。

今回の審議対象期間であります平成２６年１月から３月までの３カ月間に指名停止を講じたのは資料のとおり４案件でございます。４案件ともに、三重県が実施いたしました指名停止に合わせまして本市でも同等の措置を講じたものでございます。

次に、２点目の談合情報につきましては、対象期間内に寄せられたものはございませんでした。

続きまして、３点目といたしまして、前回の入札監視委員会で次回報告をという形でご意見をいただきました平成２５年度の入札の不調・不落の状況についてご報告させていただきたいと思います。

資料のほうは３ページのほうをごらんください。

平成２５年度に開札いたしました案件のうち、不調・不落となったものを一覧にしたものでございます。このうち、全国的に問題となっております工事のほうのことについてご説明をさせていただきたいと思います。

平成２５年度に開札いたしました工事１８７件のうち、開札時点で応札者がいない不調が１５件、開札後に全ての応札者が最低制限価格を下回ったことなどにより失格した不落が７件でございます。

不調になりました工事の種別といたしましては、土木工事１２件、建築一式工事２件、鋼構造物工事が１件、予定価格別では２５０万円未満が７件、２５０万円以上１,０００万未満が６件、１,０００万円以上が２件と、比較的小規模な土木一式工事で不調が多く発生しております。

入札の時期といたしましては、７月、９月、１０月、２月が各１件、１１月が２件、１２月が５件、１月が４件と、１２月、１月に集中して不調が発生しております。

入札不調が発生した要因といたしましてはさまざまな要因が考えられるんですけども、国、県等の発注の公共工事や民間工事の増加により、受注機会が増加したことや下請に入ったりということでありまして、配置していただく技術者が不足していることが上げられます。また、工事の増加により、原材料や重機の手配が困難になっていること、建設資材、人件費の高騰により利益率が低下しているといったことなどが考えられます。

不調・不落となった案件につきましては、仕様等を見直し、再度入札することによりまして契約締結したものもございますが、一覧のほうの番号でいいますと、８番、１２番、１４番、１６番、１７番のように、平成２６年度に発注することになった案件もございます。本年度につきましては、予定価格の適正な積算や工事の早期発注、発注時期の平準化など、適切な対応をとるよう努めていきたいと考えております。

以上でございます。

【委員長】

ありがとうございます。

それでは、ただいまのご報告につきまして、ご意見、ご質問等はございませんでしょうか。

今、平成25年度について入札の不調・不落について説明いただいたんですけれども、やはりこの傾向というのは増加、前の年に比べると増えているということが言えるんでしょうか。

【事務局】

24年度につきましては、工事については不調は全くございませんでした。ただし、全社が最低制限価格を下回るような不落といったものが6件ございました。

【委員長】

具体的に、例えば、緊急性を要する、そのままにしておくと危険だとか、そういうケースみたいなのは、そういう状況はいかがなんですかね。

【事務局】

そのあたりは工事担当課の判断にもなるんですが、そういった緊急性を要するものについては、不調・不落となったものにつきまして指名競争入札等、再度入札を執行させていただいたという経緯もありますし、それほど緊急を要しないものについては再度一般競争入札でというような形でさせていただきまして、どちらかといえば、一般競争入札のほうが契約締結までに時間がかかることもありまして、そういった対応をさせていただいております。

【委員長】

ほかは何かございませんでしょうか。

【委員】

(特になし)

【委員長】

それでは、ただいまのご報告につきましては以上にいたしたいと思います。

(3) 抽出事案の審議について

【委員長】

では、続きまして、議事の(3)抽出事案の審議についての項目に移りたいと思います。

審議に先立ちまして、抽出案件3件について説明を得るため、入札監視委員会条例第6条の規定に基づき、関係者の出席を求めたいと思いますが、いかがでしょうか。

【委員】

(異議なし)

【委員長】

それでは、関係者の出席を求めます。よろしくをお願いします。

(工事担当課 入室)

【委員長】

それでは、審議に当たりまして、今回の3件の抽出理由につきまして佐藤委員のほうから説明をお願いします。

【委員】

1件ずつがよろしいかな。3件まとめて？

【委員長】

そうですね。3件。

【委員】

それでは、今回の審議案件を抽出いたしました理由について申し上げます。

まず、1件目の9―2号の道路整備他の工事でございますけれども、今回、審査対象案件が25件ございましたが、その中で3,000万を超えるということで最高額であったということと、また、2位が2,015万円ですので900万円ぐらい高いということと、応札業者の中に失格が多い、しかも応札業者の数が少ないというのが抽出の理由でございます。

2点目の市道東方立坂町1号線道路修繕工事は指名競争入札でございますが、落札率が予定価格と同じ100%、応札業者の中で辞退が多い、しかも3者が予定価格と同額であったので、くじにより落札者を決定したということで抽出させていただきました。

次の3件目、市道梅園桜通線他道路修繕工事でございますが、これも落札率が99.96%と、ほぼ100%、応札業者の中で辞退が多かった。その中で数も少ない、4者中3者が辞退した事案でございましたので、抽出をさせていただきました。

以上でございます。

【委員長】

ありがとうございます。

抽出事案 1 9―2号道路整備他工事

【委員長】

それでは、第1案件、9―2号道路整備他工事につきまして、まず、工事担当課様のほうから工事概要書、位置図の説明をしていただき、その後で事務局から発注公告の内容と入札経過について説明をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

【担当課】

桑名駅周辺整備事務所でございます。

本工事の目的としましては、桑名駅西土地区画整理事業の施工としまして、先行建設街区内への進入道路となる9―2号道路及び6―18号道路ほかの整備を行うものでございます。

工事の内容としましては、道路施工延長150m及び雨水排水路150m及び既設構造物の撤去等々を行って道路を築造するというような工事でございます。関連工事としまして、上下水道工事及びガス工事が先行工事でございます。

以上でございます。

【事務局】

続きまして、発注公告及び入札経過についてご説明をさせていただきます。

資料のほうは8ページをごらんください。

入札方法につきましては、事後審査型一般競争入札でございます。入札参加資格につきましては、市内に本社、または本店を登録している土木工事業の許可業者で、3,000万円以上の下請工事を契約予定する場合は一般の許可業者は不可と規定しております。

経審点数650点以上のもので、完成工事高が予定価格の2分の1以上、同種工事施工実績といたしまして、平成15年度以降、官公庁元請で土木一式工事の実績を有することとしてございます。技術者要件につきましては、現場代理人及び専任配置の主任技術者を配置することとし、その他といたしまして、3,000万円以上の下請契約を予定する場合、主任技術者にかえて監理技術者を専任配置することとしてございます。

次に、入札の経過及び結果でございますが、資料のほうは9ページをごらんください。

平成26年1月8日に入札を行いましたところ、4者の応札があり、開札の結果、2者が最低制限価格を下回ったため失格といたしました。有効な札のうち最も低い価格で応札をされました新成テック株

式会社さんを落札候補者といたしまして事後審査を行いました結果、適格でございましたので、当該業者を落札者と決定いたしまして、税抜き2,548万5,000円で契約を締結いたしました。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。

ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見はございませんでしょうか。

【委員】

抽出させていただきました理由の1つにもある、2,500万円を超える高額の工事でありますけれども、見ていただきますと、落札者、2,548万5,000円、失格は2,548万2,000円、一番高いものが2,548万8,000円と、2,500万円を超える工事での4社が3,000円しか差がないということで、これまでもいろいろ説明をいただきまして、土木工事、こういった工事ではいろんな計算をする上で、価格を算出するソフト等が出回っておって、よく似た結果になるというんですけど、誤差が0.01%ぐらいというのは、こういうことが普通にあるのかなというのがちょっと疑問でしたのでまず抽出させていただきました。この辺はどうでしょうか。

【委員長】

工事担当課さんはいかがですか。

【担当課】

私どもも、入札の応札者の方は最低制限価格を目指してといいますか、入札をされているというふうに思っております。その最低制限価格につきましても算定式は公表されておりますし、また、公共工事の積算基準も公表されておりますので、この差は業者さんの何かの見込み違いかなというふうに思っております。

以上でございます。

【委員長】

いかがですか。

【委員】

了解しましたというか、わかりました。

【委員長】

見込み違いというのは、具体的に言うとうどういうことですか。

【担当課】

最低制限価格の算定におきましても、私ども桑名市では変動制を採用しておるところがございまして、その変動制は応札業者数で変わるというようところがございますもので、その辺も見込まれたのかなというふうに思うところでございます。

以上でございます。

【委員長】

ほかに何かございませんか。

【委員】

工事の入札関係が非常に不調という話が先ほどから出ているわけなんですけど、今回、4者しか応札してくれなかったと。理想的には何者ぐらいほんとうは来てもらえるかなというのがあったら、教えていただけますか。

【事務局】

理想といたしましては多ければ多いほどというのはございますけれども、桑名市といたしまして変動型の最低制限価格を採用しておりますので、今の制度でいきますと8者以上有効な札があれば変動するというので、それ以上の数があればこちらとしては望ましい競争がしていただけるんじゃないかと考えているところでございます。

【委員】

ありがとうございました。

ほんとうはもっと来てもらえるといいんですけどもということですよね。なかなか工夫するところもなく難しいのかもしれませんが。

【委員長】

その参加資格要件の上だと、当てはまる業者さんの数というのは大まかにどんなふうにございますか。

【事務局】

3,000万円ですので、2,500万円から5,000万円という区切りになるかと思うんですが、20者から30者ほどは資格としてあると思います。ただ、同種工事の施工実績、土木工事一式でございますので、おそらくは持ってみえる中で、予定価格の2分の1以上という完成工事高が必要になってまいりますので、そのあたりではじかれる業者さん、本来であれば土木工事一式できる業者さんが100者以上桑名市のほうに登録があるんですけども、その中で20者から30者という形になってございます。

【委員長】

ほかにはいかがですか。

それでは、この案件につきましては特に問題はないということにいたしたいと思います。

抽出事案 2 市道東方立坂町1号線道路修繕工事

【委員長】

では、次に、第2案件、市道東方立坂町1号線道路修繕工事につきまして、工事担当課のほうから工事概要書、位置図、指名競争入札の理由について説明をしていただき、その後、事務局から入札経過についてご説明をお願いいたします。

【担当課】

土木課でございます。よろしくお願いいたします。

それでは、10ページをお開きください。

工事名、市道東方立坂町1号線道路修繕工事、主な工事概要といたしまして、250掛け250、これはサイズですけども、側溝工が53.8m、それと、250の横断側溝工、グレーチングのふたつきになっています、これが9m。それと、電柱よけといたしまして、電柱にぶつかるときに迂回するようなソフトの形の側溝がありますので、それを2カ所と集水桝工を3基、舗装については表層厚4センチで42平米、あと、修繕工事でございますので、既存側溝の構造物等の取りこわし工が一式ございます。

あと、13ページをお開きください。

今回、この工事は、狭隘な道路でふたをかけて歩行者の安全を図るという工事でございます。前回、一般競争入札方式により入札を実施いたしました但、全社落札可能件数に達し、無効となり、落札候補者の決定に至りませんでした。開札結果により、今回の応札業者に加え、昨年度に当該現場の工事を行った実績のある加藤組と当該現場の近隣に事務所のある薫田工務店で指名競争入札を行い、早期の工事着手を目指すものでございます。

以上でございます。

【事務局】

続きまして、入札の経過及び結果についてご説明いたします。

資料は15ページをごらんください。

平成26年1月16日に入札を行いましたところ、指名いたしました5者のうち2者が辞退し、応札者は3者でございました。開札をいたしましたところ、3者が同額での入札であったため、くじにより新成テック株式会社を落札候補者と決定いたしまして、税抜き289万5,000円で契約を締結いたしました。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

【委員長】

それでは、ただいまのご説明につきまして、ご意見、ご質問をお願いいたします。

【委 員】

最初の入札参加者が3者とも無効になって指名競争に切りかえたということですから、この一般競争入札で無効となった理由は何でしょうか。

【事務局】

無効となりました理由といたしましては、入札の当日にはほかの工事の入札がありますので、その中で桑名市といたしましては金額の高いものから工事については開札をいたしております。各業者とも技術者さんが限られておりますので、その技術者さんを配置する必要があるということで、高い金額のものをとられた場合に技術者さんが足りなくなってしまうと、開札が10件あるうちの1件なり2件なりしかとれませんよという届を出していただいておりますので、それによって落札可能件数に到達して無効という形で今回不調になっております。

【委 員】

了解しました。

それと、次の指名競争になって、5者に声をかけられて2者が辞退されたという場合、この辞退された業者というのは、例えば次回、指名をするときに外すとか、入れないとか、そういういわゆるペナルティーのようなものは何もないんですか。

【事務局】

桑名市の指名停止基準といたしましては、指名競争入札を行った場合に辞退をされた場合に指名停止をするという基準がないものですから、今のところそういった措置をとらせていただくことはございません。

【委 員】

了解しました。

それと、1点目と同じなんですけれども、今回の指名競争入札で5者指名されて3者が応札をされて、しかも289万5,000円という3者とも同額で、くじ引きで決定したということで、落札率100%という形になっておりますので、この辺の理由はどうでしょうか。先ほどと同じでしょうか。

【事務局】

契約監理課といたしましては、この時期というのが一覧表にもございましたとおり、入札不調・不落が多発している時期でもありまして、各業者さんともかなりの工事を抱えてみえるというところもあって、とればとりたいたいという部分から応札をされたんだとは思いますが、金額的にとれなくても構わないという部分があって、金額の高いところで入れればとれないかもということが考えられたとは思いますが、そういったことがあっての入札ということだと思います。また、一般競争入札においても100%に近い応札額というのがこの時期多々ありましたので、そういったところも見ながら入札をされたのかなというところでございます。

【委 員】

了解しました。

【委員長】

ほかはどうでしょう。

【委 員】

先ほどのご説明の中に、開札をする場合にその日の案件の中から金額の多いほうからやっていく。その多いほうをとったところは小さい工事に関しては技術者が足りませんと言っちゃってもいいやというのがあるのかもしれないと思うんですけれども、例えば順番をまるで逆転させて、小さい額の工事からやっていくというふうにやるということは考えられないんでしょうか。

【事務局】

そういった形も1つの案だとは思いますが、大きな工事というか、金額の高い工事のほうが市民生

活に直結する工事ということが多々あるかと思うので、契約監理課といたしましては金額の高いほうから開札したいというのがございますし、業者さんにとりましても金額の高いほうから開札をするという今までの流れもございますので、なかなか変えづらいところはあるんじゃないかと思うところでございます。

【委員長】

ほかには。

じゃ、この案件につきましては特に問題はなしということにしたいと思います。

抽出事案 3 市道梅園桜通線他道路修繕工事

【委員長】

それでは、最後の案件、第3案件、市道梅園桜通線他道路修繕工事につきまして、工事担当課のほうから工事概要書、位置図、指名競争入札の理由について説明をしていただき、その後、事務局のほうから経過について説明をお願いします。よろしくお願いします。

【担当課】

土木課でございます。よろしくお願いします。

16ページをお開きください。

工事名、市道梅園桜通線他道路修繕工事、主な工事概要といたしまして、U型側溝300、これもサイズでございます、300A、77.7m、それと、電柱迂回側溝工が3箇所、既設側溝の構造物取り壊しが一式、舗装工、表層4センチ厚の舗装が44.0㎡。

続きまして、19ページをお開きください。

指名競争入札理由書といたしまして、本工事でも既設側溝が老朽化して機能が低下しているため、早急に機能回復する必要があるため、一般競争に付したところ、応札者がなく、工期等により再度公告等一般競争入札手続の余裕、工期等の余裕がないため、4社による指名競争入札をしたものでございます。

よろしくお願いします。

【事務局】

続きまして、入札の経過及び結果についてご説明いたします。

資料のほうは21ページをごらんください。

平成26年1月22日に入札を行いましたところ、指名いたしました4者のうち3者が辞退し、応札者は1者でございました。開札の結果、株式会社昭栄建設の入札額が最低制限価格以上予定価格の範囲内でありましたので、当該事業者を落札者と決定いたしまして、税抜き273万9,000円で契約を締結いたしましたものでございます。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

【委員長】

それでは、ただいまの説明につきまして、ご質問等はございますか。

【委員】

抽出させていただきました理由を説明させていただきますが、今回も、この時期、こういった辞退者が非常に多いのがずっと案件の中に並んでおりましたけれども、これにつきましては、最初がだめで次に4者を指名して3者が辞退という形になると、もう1者と。どっちかという、随契に近いような形の入札なのかなという見た目がするんですけども、緊急、やむを得ない工事で早くやらなければならないということもあったのかもわかりませんが、なおかつ落札率も99.96%ということで、ほぼ100%というような形になっておりますので、この辺についてはどういうことが理由として上げられるのかなというのをお聞きしたかったんです。

【事務局】

契約監理課といたしましては、先ほど説明させていただいたような理由の中で、応札がなかなか難し

いといったところもあったのかなというふうに思うところでございます。あと、一応、指名競争入札でありましたので電子入札を使用しておりますのと、指名業者については事後公表となっておりますので、何社指名がなされておるかだとか、どこが指名されておるかといったことは公表してございませんので、1者というのは事後になってわかることでございますので、よろしくお願いいたします。

【委 員】

この工事を見させていただくと、1号箇所と2号箇所の距離が道のりでいうと大体500メートルぐらいになると思うんですけど、例えばこれを発注を別にかけるとか、一緒にするとか、今回は一緒にしているんですけど、何か基準とか、そういった考えというのがあれば、教えていただきたいですが。

【担当課】

あくまで今回は修繕工事でありまして、経常的に毎年少しずつ工事をこの地区内でやっている中で、やはり効率よく設計施工するに当たってはこれぐらいの数量、2カ所をやるのが合理的ということで2カ所を入れた1つの工事にいたしました。

以上でございます。

【委 員】

要は、これを2つに分けてしまうと、逆に市の税金として単価が高くなってしまうと、そういうことがあるんですか。

【担当課】

はい。直接工事費が下がることによって経費率が上がりますので、2つに分けるよりもまとめたほうが安価に設計できることになります。

【委 員】

ただ、そうはいえど、距離が例えば極端に離れている場合は別にせざるを得ないということもあるんですね。

【担当課】

はい。やはり現場監理していく中で1キロ、2キロも離れているということは、500メートル以内が可能かなとは思います。

【委 員】

ありがとうございます。

【委員長】

ほかはいかがでしょう。

工事の中身についてよくわからないのでとんちんかんことを聞きますけど、名称が修繕工事というふうになっているけど、今お聞きしたところ、古くなったところについて継続的に予算の中で着実にやっていくというタイプの工事なんですね。別にそこが何か緊急の、老朽化のために何かが起こってということではない、それはどうですか。

【担当課】

この地区自体が開発で昭和40年前後でやられたところで、もう全て地区全体が老朽化していますので順番に、ここだけじゃなくて、駅西のほうなんですけれども、過去に開発されたところが古くなってきたということで、順番にやっております。

【委員長】

ほかはいかがでしょう。

これは特にこの3つ目の案件だけについてのことではないんですけど、今日の委員会の最初の説明等に関して、案件3つ、総合的に見ても、やはり社会情勢として入札不調とかが増えているということがよくわかるんですけども、その中で単価を見直すということもさっき説明の中にあったんですけど、その見直す、具体的に言うと単価を上げるんでしょうけれども、幅とか、その上げぐあいとか、あと、これはわからないんですけど、あまり技術者の要件を緩くすると質に影響するとは思いますが、業者の要件を緩和するとか、そういうことについての方針というか、何か今後の見通し等は何かござい

ませんでしょうか。もしありましたら説明をお願いします。

【担当課】

土木課といたしましては、設計するに当たっては県の単価とか、建設物価版で積算しておりますので、県のほうが今回も2月に、本来は4月のところを前倒して2月にも単価改正をしたりして、なるべく実勢価格に近い単価を採用していると聞いておりますので、市としましては、県の単価、物価版に準じて設計していくこととなります。

【事務局】

あと、国のほうでも入札の不調対策ということでさまざまな方針が示されておるところなんですけれども、その中で技術者の要件の緩和といたしましては、隣接した施工現場においては主任技術者が兼任できる範囲というのをこれまで5キロだったものを10キロ以内という形で、10キロ程度という形で緩和もされてきている部分もありますので、そのあたりも1つ検討課題ではあるのかなと。ただ、5キロ、10キロというと、桑名市ですとそんなに距離がないところですので、そのあたりも考えながらというところもございますし、国の直轄工事についての方策が多く出ておりますけれども、桑名市の中で取り入れられるものについては検討していきたいなというふうに考えております。

【委員長】

ほかに、この3つ目の案件でも結構ですし、今日の全体についても結構ですが、何かございますか。それでは、この案件につきましては問題ないということにいたしたいと思います。以上をもちまして抽出事案の審議を終了したいと思います。工事担当課の方々はここで退席していただきます。どうもありがとうございました。

(工事担当課 退室)

【委員長】

次回の審議案件の抽出は、名簿順によりますと、今日は偶然所用で欠席ですが、藤田委員ということでございますので、また連絡していただいてご本人にお伝えしていただきたいと思います。

3 その他

【委員長】

それでは、ほかに事務局のほうから何かございますでしょうか。

【事務局】

特にございません。

4 閉 会

【委員長】

それでは、特にほかにございませんようでしたら、これで平成26年度第1回の桑名市入札監視委員会を終了させていただきます。また、本日の審議概要は事務局でまとめていただきたいと思います。本日はどうもお忙しいところをありがとうございました。